



中心市街地活性化に対する 三期連続の市政公約とその責任 ……政治生命をかけよ！

自由民主党議員団 徳永 春男議員

問 市政公約である中心市街地活性化推進における責任について聞きたい。

答 中心市街地活性化基本計画に基づき取り組んできたが、予想を上回る社会の変化等により、一、二期目では市民の誰もが実感できる、目に見える効果が表れるには至らなかった現実を重く受け止めている。

三期目の公約にも重点課題の一つに掲げており、その実現に向けて、政治生命をかけて総合的・計画的に取り組み、人が住み、人が集まる新栄町地区になるようにしっかり頑張っていきたい。

問 校区コミュニティーセンターの設置構想と、その実現性について聞きたい。

答 総合計画2006～2015の後期基本計画第2期実施計画に掲げて、既存の公共施設の活用や、それによりがたい場合は新設を含め、具体化していきたいと考えている。

歓迎議長室

市勢要覧の写真撮影

大牟田市勢要覧に掲載する写真の撮影が、12月10日に議場と議長応接室で行われました。3月発行予定です。



インフォメーション

次の定例会は2月です

詳細については、議会事務局までお問い合わせください。また、ホームページでもお知らせします。

傍聴のお知らせ

本会議の傍聴ができます。傍聴席へは、市役所本庁舎中庭入口（1階）または市民生活課（2階）奥の階段からお上がりください。

会議録の閲覧

本紙掲載の代表質問と一般質問は、質問議員自らが要約したものです。詳しくは市立図書館、情報公開センターで会議録をご覧ください。2月中旬から閲覧できます。ホームページでも、2月中旬から検索・閲覧できます。

トピックス 議会研修会

「有明海東部地区農地海岸保全事業について」

平成24年11月22日に、本年度第1回目の議会研修会を行いました。農林水産省九州農政局有明海岸保全事業所より説明を受け、有明海沿岸で現地視察を行いました。

24年度までに進捗率70%の予定

本事業は、堤防などの海岸施設の防災機能の強化を図ることにより、高潮・波浪・地震等の自然災害から背後地の農地や宅地等を防護し、地域住民の生命・財産を守るとともに国土保全を図り、併せて海岸線の環境・利用に配慮し、人々に親しまれる海岸整備を行うものです。



本事業の総事業費は364億円（国2/3、県1/3負担、市負担なし）で、工期は平成5年度～30年度となっています。

主な工区は三池工区・大和工区・昭代工区で、本市にかかわりのある三池工区の事業の進捗状況は、工区全体の事業費約162億円のうち、23年度までの事業費は108億円で、進捗率は67%です。24年度は、正面堤防消波ブロック製作工、大牟田排水樋門工、堂面川堤防補強工を実施中で、24年度までの進捗率は約70%を予定しています。



今後の主な工事は、正面堤防消波ブロック製作据付工、大牟田排水樋門工、堂面川堤防補強工で、30年度に完成する予定です。

ノリ養殖等に配慮

堤防改修工事に当たっては、ノリ養殖等への海域環境に配慮し、海側工事やコンクリート打設、地盤改良工事はノリ養殖期間（9～3月）以外の期間で実施してあります。また、コンクリート消波ブロックの製作据付に当たっては、海域水質への影響に配慮し、製作後、一定期間放置後に現地据付を行うなどの工夫も見られました。

研修会に参加して

参加した議員からは、「大きな予算を伴う国の事業が身近なところで行われていることに改めて感心した」「万が一の台風や地震などの自然災害発生時の備えのためには大切な事業である」などの感想が聞かれました。我々市議会も、市民の安心安全のために、一丸となって取り組んでいく決意を新たにしました。